



筑前・

黒田家が

伝えた名宝

福岡市美術館のコレクションより

2015年

8月22日(土) — 10月18日(日)

※作品保護のため展示替えがあります
前期 8月22日(土) — 9月15日(火) 後期 9月17日(木) — 10月18日(日)

■休館日: 9月16日(水)

■開館時間: 午前10時 — 午後5時(入館は午後4時30分まで)

■観覧料: 一般800(600)円、大高生500(400)円、中学生以下無料

※()内は20名以上の団体料金
主催: 公益財団法人香雪美術館 朝日新聞社
協力: 福岡市美術館

すべてが桁違い! 豪華絢爛の大名コレクション。



香雪美術館

KOSETSU MUSEUM OF ART



筑前・
黒田家
が
伝えた名宝
福岡市美術館のコレクションより



本展では、これら黒田資料の中から代表的な絵画、書跡、工芸品を一堂に会します。江戸時代を代表する大名家が育み伝えた大名コレクションの魅力を紹介します。

黒田官兵衛の子・黒田長政(1568〜1623)は関ヶ原の戦いの功績により筑前・福岡藩主として着任。代々黒田家は筑前一国52万石を司り、さまざまな分野の貴重な美術品を数多く収集しました。福岡市美術館に伝わる黒田資料の中には官兵衛の肖像画「黒田如水像」や初期の洋風画の代表作「泰西風俗図屏風」(重要文化財)、宮城の塩竈と松島の風景を大規模に描いた「塩竈松島図屏風」、日本の半分となら交換してもよいとされたエピソードを持つ「唐物茶入 銘「博多文琳」」など、日本の歴史を彩る作品が含まれます。



関連イベント

記念講演会

日時: 9月6日(日) 午後1時から
講演: 「黒田家の絵画 一大画面障壁画のたのしみ」
講師: 中山喜一郎氏 福岡市美術館 副館長
定員: 50名 ※当日午前11時より整理券を配布します

ギャラリートーク

会期中の毎週土曜日、午後2時から学芸員によるギャラリートークを行います。

※講演会、ギャラリートークの聴講は無料ですが、別展覧会の鑑賞券が必要です。

表面/上段:「塩竈松島図屏風」 江戸時代 後期 / 中段左から:「藤巴桐紋露置薄文蒔絵挟箱」 江戸時代、「唐物茶入 銘「博多文琳」」中国・明時代、「牡丹文蒔絵太鼓」蒔絵下絵:狩野探幽、狩野永真、狩野洞雲 江戸時代/タイトル下:「牡丹文蒔絵太鼓」(部分)/下段:「猿図」狩野探幽 江戸時代 後期

裏面/①「永楽通宝の陣羽織」 桃山時代 後期 / ②「貝文蒔絵太鼓胴」 弥左衛門 江戸時代 / ③「百鳥図」(伝)迎文進 中国・明時代 前期 / ④「波千鳥に硬羅甲花弁飾り」 江戸時代 / ⑤「御簾にあやめ露甲花弁飾り」 江戸時代 / ⑥重要美術品「寿老図」 雪舟 室町時代 後期 / ⑦「阿蘭陀絵帖」のうち 宋紫山 江戸時代 前期 / ⑧重要文化財「泰西風俗図屏風」(右隻) 桃山時代 前期 写真撮影:山崎信一 ※前期、後期の表記のないものは全期間展示いたします

交通案内

阪急「御影」駅南改札口より東南へ徒歩5分
JR「住吉」駅より北西へ徒歩15分
阪神「御影」駅より市バス19系統で「阪急御影」下車徒歩5分
※美術館には専用駐車場はありません。ご来館は電車・バス等をご利用下さい。



香雪美術館

〒658-0048 神戸市東灘区御影郡家2丁目12-1
Tel: 078-841-0652
http://www.kosetsu-museum.or.jp

次回展 「竹の美 茶道具を中心に」
10月31日(土)〜12月23日(水・祝) 休館日11月18日(水)